



「しあわせになるため 誰もが生まれてきたんだよ」

いのちの理由 (作詞 さだまさし)

私が生まれてきた訳は
 父と母とに出会うため
 私が生まれてきた訳は
 きょうだいたちに出会うため
 私が生まれてきた訳は
 友達みんなに出会うため
 私が生まれてきた訳は
 愛しいあなたに出会うため
 春来れば
 花自ずから咲くように
 秋くれば
 葉は自ずから散るように
 しあわせになるために
 誰もが生まれてきたんだよ
 悲しみの花の後からは
 喜びの実が実るように



あなたが生まれてきた訳は、何ですか。

一月の法話会で、ご講師の柳川先生が、「いのちの理由」という曲をご紹介下さいました。シンガーソングライターのさだまさしさんが、浄土宗の依頼で作った曲で、「みんな救われたいけど、どう救われたらいいのかわからない」、だからこの曲を聞いて、それをイメージしてもらいたいと仰っています。

私たちの人生は、思い通りにならないことばかり。時には、生きる意味さえ見失います。しかし、仏様は私のいのちそのものを慈しんで下さっています。そこに、何一つ条件はありません。私があるのままで救われる世界が、仏様の世界です。

生まれてきて、私はしあわせです。そのしあわせは、仏様の教えを聞いて、気づかせていただいたもの。仏様との出会いに、感謝します。(静)

日	月	火	水	木	金	土
					1 10:00納骨堂合同礼拝 13:30ランドゴルフ	2 10:00納骨堂合同礼拝 13:30ランドゴルフ
3 7:00日曜礼拝	4	5	6	7	8 13:30 れんげの集い (仏教婦人会)	9
10 7:00日曜礼拝	11	12	13 13:00ヨガ教室	14	15	16 13:30ランドゴルフ
17 7:00日曜礼拝	18	19	20 [講師] 宮本義直師(神奈川)	21 春分の日 10:30やすらぎ堂法要 13:30春彼岸法要	22	23
24 7:00日曜礼拝	25 テラ 9:00ボラン寺 (寺報発送作業)	26	27 13:00ヨガ教室	28	29	30
31 7:00日曜礼拝						<来月の予定> 4/20 法話会

天ちゃんの一言

● 2019(平成31)年 年回表

1 周忌 平成30(2018)年	17回忌 平成15(2003)年
3 回忌 平成29(2017)年	25回忌 平成 7(1995)年
7 回忌 平成25(2013)年	33回忌 昭和62(1987)年
13回忌 平成19(2007)年	50回忌 昭和45(1970)年

ご命日前後で、ご家族にとって都合がいい日を選び、ご自宅かお寺で営みます。ご相談は、お早めにお寺までお願い致します。

● 仏事の相談、お墓のお悩みはお寺までお気軽にどうぞ

天真寺が管理する墓地があります。

- ・「大町やすらぎパーク」(松戸市串崎新田、北総線大町駅徒歩3分)

天真寺が管理する永代合葬墓があります。

- ・「やすらぎ堂」(松戸大町やすらぎパーク内) 管理費なし
- ・「あんのん堂」(親鸞聖人のご廟所・京都大谷本廟内) 管理費なし
- ・一時預かり「納骨堂」(天真寺2F) 年間管理費 1万2千円(一体)

門信徒会 に入りませんか

天真寺のお仲間になりませんか。
 お盆やお彼岸の法要や、行事にご参加いただけます。
 毎月、お寺のたよりと仏教冊子をお送りしています。
 どなた様も大歓迎です。ご入会お待ちしております。

<年会費> 3千円



先月の雪景色。今月はもう桜の開花宣言。諸行無常だからこそ、新しい季節の喜びも！

天真寺

浄土真宗本願寺派
 〒270-2251
 千葉県松戸市金ヶ作106番地
 TEL 047-389-0808
 FAX 047-389-0809

www.tenshin.or.jp



春彼岸法要



●日時 **3月21日**(春分の日) 午後1時半

みやもと ぎ せん

●講師 **宮本 義宣** 師 (神奈川県川崎市高源寺住職、本願寺派布教使)

どなた様もご自由にご参加下さい。

送迎バス

春彼岸法要のお参りに
無料送迎車をご利用下さい



- 12:00 JR北小金駅南口SATY前五大ホーム
- 12:10 宿畑(小金原バス案内所行き方面バス停)
- 12:15 小金原交番前
- 12:20 マルエツ小金原店駐車場
- 12:25 栗ヶ沢公園前ファミリーマート
- 12:40 天真寺
- 13:00 新京成線八柱駅北口ロータリー
- 13:10 新京成線常盤平駅北口2番バス停
- 13:15 天真寺

大町やすらぎパーク
「やすらぎ堂」春彼岸法要

【日時】 3月21日(春分の日)
10時半～11時

【場所】 大町やすらぎパーク内
「やすらぎ堂」前

大町やすらぎパーク、やすらぎ堂にご
納骨の方、どなた様もお参り下さい。



渋柿の渋がそのまま甘さかな

天真寺副住職 西原 龍哉

平成も残り数ヶ月です。小学生の時、当時の官房長官が新元号「平成」の二文字を掲げた瞬間を鮮明に覚えています。それから三十二年。中身はあの頃と変わらない気もしますが、やはり年相応の外見には「諸行無常」の時の流れを感じます。

現在の元号は、明治に「二世一元制」が採用され、天皇一代に使用する元号は一つです。しかし、親鸞聖人の時代は、大地震や火災など天変地異、疫病の流行などが発生すると、元号が変わっていました。聖人九十年の生涯は、三十六回元号が変わる程の激動の時代でした。

聖人の伯父日野宗業は高名な儒学者で、朝廷の文章博士として、鎌倉時代「建仁(一一二〇～一一二四)」、「建保(一一二二～一一三二)」、「元号を提案されています。その建仁元年は、親鸞聖人にとって忘れがたい年です。



『教行信証』後序に、「しかるに愚禿釈の鸞、建仁辛酉の曆、雑行を棄てて本願に帰す」と示されます。

この時聖人二十九歳、これまで自らの計らいによつて悟りを開く仏道「雑行」から、「我にまかせよ、必ず救う」と南無阿弥陀仏の呼び声となつてはたらいにくださる阿弥陀如来の「本願」に帰依をされる仏道を歩まれる決意をしたのです。

昨年は、多くの災害に見舞われ、無力な私たち人間の姿が映し出されました。親鸞聖人が在関東の頃、活躍していたのが修験者の山伏弁円です。修験道では、呪術によつて災害を除き、来福を祈ります。弁円は念仏の教えがひろまると、聖人に敵愾心を抱き、殺害計画を立てました。しかし、実際に会つて話をすると、瞬く間にその教えに帰依し、弓矢・刀・頭巾と山伏姿を投げ放つて、仏弟子となられました。

念仏の世界は、苦惱を取り除く道ではありません。その苦惱の中から教えられ、育てられ、目覚めさせられる世界です。煩惱具足の私を、そのまま抱き取つて下さるのが阿弥陀如来のお慈悲であり、一人じゃないぞ、ともに乗り越えようと「南無阿弥陀仏」のよび声となつてくださる仏さまと歩く道です。苦惱は変わらずとも、受け取る私が変わられていくのです。

先人は、そのお心を「渋柿の渋がそのまま甘さかな」と詠まれました。煩惱具足の私だからこそ、念仏申す身へと育てられるのです。時代は変わつても、常に我身を照らしてくださる阿弥陀如来のお慈悲の心は変わらないのです。



★春彼岸法要

浄土からの声を聞く

緑萌え蕾がふくらみ、いのちの力強さを感じる季節です。阿弥陀如来は、「生きとし生けるすべてのいのちを平等に救いたい」とはたらき続けて下さっている仏様です。この世(此岸)では世事に忙しく、浄土(彼岸)からの声に耳を傾けることを忘れてしまいます。

私のいのちは、縦方向にはご先祖からつながり、横方向には多くの支えや犠牲の上に成り立っている、当たり前ではない尊いのです。お彼岸には、浄土に心を向け、私にかけられた阿弥陀如来の願いを聞いてみませんか。春彼岸法要には、皆様のご参拝をお待ちしております。

★仏教婦人れんげ会

ぜひご参加下さい

日頃よりれんげ会の活動にご協力を賜り、ありがとうございます。一月は「新年会」を開き、会員同士の親睦を図りました。今回は新しい方が三名加わって下さり、大変嬉しく思いました。毎月の集いでは、お聴聞やお経の練習、また楽しみごとなど、有意義な時間を過ごしています。役員一同お待ちしておりますので、皆様もぜひご参加下さい。(坊守 西原悦子)

★寄附のご報告

やすらぎパーク募金箱

天真寺墓苑「大町やすらぎパーク」の募金箱の集計を行い、全額を「本願寺たすけあい募金」に寄付致しました。皆様のあたたかいお心に感謝申し上げます。

【募金額】6,841円

